

年頭所感



2024年10月1日就任
理事長 **内村 公春**

「希望をもって」

2025年となりました。本来明るく未来を語る言葉が並ぶ新年ですが、いまの時代状況を「平和の危機」、「民主主義の危機」、「自由の危機」などと語られるように、まるで明るい1年とはならないように思えてしまいます。しかし、歴史を振り返ると暗く見える時代状況の中で人々は常に希望を見出し、新しい時代を切り拓いてきたことが分かります。

昨年末の教職員クリスマスで語られたのは、聖書がクリスマスの出来事として、ヘロデ王による大虐殺の出来事の中で幼児イエスの誕生を描き、弱く小さな存在に見える幼子イエス・キリストが、実は大きな希望となることを語っているというメッセージでした。

さて1年後の2026年、学院は創立100周年を迎えます。イエス・キリストの名によって建てられたこの九州ルーテル学院は、いくつもの困難を乗り越え、歩みを続けてきました。そこには祈りと希望がありました。改めてエカード先生をはじめ創立時に込められた想いをしっかりと受け止めつつ、新たなスタートに向かうこの1年を過ごしていきたいと願います。



学院長 **光永 尚生**

「建学の精神」

ヨハネによる福音書の冒頭に、「はじめに言葉があった。言葉は神と共にあった。」とあります。今、この時を生きる私たちに与えられた、99年目の歴史を振り返る時、私たちが覚えるべきことは、九州ルーテル学院の建学の精神ではないでしょうか。そのキリスト教の精神を土台として、更に素晴らしい教育活動の実践を進めてまいります。「キリスト教の精神に基づく、人格教育を行い、識見を高め、情操を養い、愛をもって、平和を実現するために神と他者と共に進んで奉仕する人を育成する。」歴史とは変化の連続ですが、変えてはいけぬものを受け入れる心の静けさと、変えられものを変える勇気と、その両者を見分ける英知を我に与えたまえ。というニーバーの祈りにあるように、「みんなのものが一つとなるように」この1年を歩んでまいりましょう。そして、「感恩奉仕」の言葉にある、深く神に感謝し、隣人に仕えられる2025年度となることを通し、次の100年に向けたスタートが切れることを心からお祈りしております。いつもありがとうございます。

聖書の ことば



「主にあっていつも喜びなさい。もう一度言います。喜びなさい。あなたがたの寛容な心をすべての人に知らせなさい。」

(フィリピの信徒への手紙4章4～5節 a)



「喜びなさい」。この短い言葉をまっすぐに受け入れられる時、私たちの人生には何かを変える「光」が差し込むでしょう。神様が与えられる「喜び」とは、喜べる何かが起きて喜ぶだけではなく、神様が共におられることが「喜び」だからです。

「あなたがたの寛容な心をすべての人に知らせなさい」。ここでいう「寛容」とは、単に人の性格におけるそれだけではなく、どんな時もぶれずに、大切なものを失わない心の広さです。それを

もってどんな時も他者を大切にすることを失わない資質です。

私たちの学院に集う子どもたち、それぞれの若い命は、私たちのこういう姿を見て学びます。保護者である「私」、教育者である「私」、人生の先輩であり仲間である「私」が、本当に大切なものに向かって喜ぶ心、広い心をもつ姿を見て、安心し、育ちます。

チャプレン **崔 大凡**

Contents

| | |
|---------------|---|
| 理事長・学院長 年頭所感 | |
| 聖書のことば | 1 |
| 創立記念礼拝・永年勤続表彰 | |
| 大学・保育園からのお知らせ | 2 |

| | |
|--------------|---|
| 中学・高校からのお知らせ | |
| こども園からのお知らせ | 3 |
| インター小からのお知らせ | |
| クリスマス特集 | 4 |

創立記念礼拝・永年勤続表彰



表彰状を受け取る金津教諭(勤続30年)

<表彰者一覧(計8名)>

30年表彰

金津 左代 (中学 教員)

20年表彰

宮本 和範 (高校 教員)

濱崎 庸一 (高校 教員)

野口 若菜 (高校 教員)

10年表彰

永野 典詞 (大学 教員)

上野 開 (高校 教員)

濱田 昭吾 (高校 教員)

藤林 敏秀 (法人 職員)

10月3日(木)、大学チャペルにて九州ルーテル学院創立98周年記念礼拝及び永年勤続表彰式が開催されました。記念礼拝では、崔チャプレンから学院創立100年を迎えるにあたって、与えられた伝統を大切に、感謝していくことの重要性を述べられました。

続いて光永学院長により聖書「ヨハネによる福音書10章

1節～18節」に基づき、「マーサ・B.エカード先生の想い～ルーテルの丘から次の100年へ向けて設立の精神に触れ～」という演題で教職員にメッセージが伝えられました。

永年勤続表彰式では、表彰者代表の金津教諭により、教育に30年携われたことに対する感謝を述べられました。

チャペル委員奉仕係の活動報告

チャペル委員は、建学の精神に基づき学内の宗教行事の運営等を行うことを目的とした学生組織です。今回はチャペル委員の役割のひとつ、奉仕係の活動について紹介します。

2011年より、路上生活者の支援をしている「NPO法人くまもと支援の会」の依頼を受け、路上生活者(元路上生活者も含む)の方たちに配るおにぎりを毎年(13年、15年を除く)クリスマスの時期に奉仕係が担当してきました。

当初は橋の下や河川敷に多くの路上生活者がいました。学生たちは川尻や江津湖の方まで出かけておにぎりを届けていました。コロナ禍を境に熊本では定住する路上生活者は、ほとんどい



なくなり、車中泊や居場所を転々とする方が増えてきました。今では月に一度、花畑公園を拠点に支援の会が活動を続けています。

寒さが身に染みる12月の暮れ、学生たちは少しでも温かいクリスマスの雰囲気を感じてもらえるように毎年工夫しながら、心を込めてにぎったおにぎりを届けています。

九州ルーテル学院大学

降誕劇

5歳児と4歳児6名で初めて演じた降誕劇。一人一役を自信に満ちながら歌や台詞で表現し、見事にやり遂げました。イエス様の誕生を伝え、喜び祝う劇になりました。お家の方々からも盛大な拍手が送られましたよ。これからもイエス様と結ばれ、つながっていくことと思います。



自然に囲まれて～白川河川敷～

白川河川敷は絶好のフィールド。草花や虫、水、せせらぎ、虫の鳴き声・子どもたちがワクワクする場所です。四季を通して思わず駆け出したくなり、たくさんの発見や気づきを楽しんでいます。



保護者フリートーク開催中!



毎月第4土曜日の10時から『保護者フリートーク』を保育園で開催しています。子育て中の保護者の方が集まり、子育てのことはもちろん、いろいろなお話に盛り上がり、笑顔になれる時間を過ごしています。

お菓子や飲み物をご用意し、みなさまのお越しをお待ちしております。お問い合わせは《保育園 TEL096-343-5017》です。お会いできるのを楽しみにしております。

九州ルーテル学院大学附属くろかみ保育園

中高報告

第55回熊日スポーツ賞 奨励賞受賞



門岡 蘭さん(高校2年)

2024年10月に行われた佐賀国民スポーツ大会馬術少年リレー競技において、熊本農業高校の選手とペアを組んだ門岡さんが、見事優勝いたしました。その功績が称えられ、第55回熊日スポーツ賞奨励賞を受賞しました。今後もより一層の活躍が期待されます。

全国高校生英語エッセーコンテストで特別賞受賞



嶺山 桃さん(高校1年)

英語検定試験「TOEIC」を実施する国際ビジネスコミュニケーション協会の高校生エッセーコンテストで、ルーテル学院高(熊本市中央区)1年の嶺山桃さんが特別賞を受賞した。米国で8年間、帰国後の日本で4年間それぞれ暮らして感じた帰属意識をめぐめる悩みと、それを乗り越えたエピソードが評価された。

(記事、写真ともに2024年12月18日付熊本日日新聞より)

中学合唱コンクール



金賞
3年1組



銀賞
3年3組



銅賞
1年3組

最優秀伴奏者賞 中川 莉子(3年1組)
最優秀指揮者賞 堀田 崇介(1年3組)

10月29日、大学チャペルにて合唱コンクールが行われました。課題曲に続き、自由曲を歌い、競いました。どのクラスもそれぞれ練習してきた成果を発揮し、一つになって素敵な歌声を披露しました。



少林寺拳法部 第28回全国高等学校少林寺拳法選抜大会(3月26日~28日、岡山県)出場決定



少林寺拳法部が12月21日、22日に行われた第11回九州高等学校少林寺拳法選抜大会に出場し、全国大会への出場権を獲得しました。また、女子の部で初めて熊本県が最優秀県に輝きました。全国大会出場種目とそれぞれの九州大会の結果は次のとおりです。

女子規定単独演武

- | | |
|----|-----------|
| 1位 | 吉代恵都(1年) |
| 4位 | 飯山紀世香(1年) |
| 5位 | 上野明梨亜(1年) |

女子規定組演武

- | | |
|----|--------------------|
| 2位 | 本田ひかり、渡邊莉々加(ともに1年) |
|----|--------------------|

女子自由単独演武

- | | |
|----|----------|
| 1位 | 川本景子(1年) |
|----|----------|

女子自由組演武

- | | |
|----|--------------------|
| 3位 | 城沙耶、原あかり(ともに2年) |
| 4位 | 大竹さくら、木下久真梨(ともに2年) |

男女自由組演武

- | | |
|----|-----------------|
| 3位 | 木下翔太、坂口駆(ともに2年) |
|----|-----------------|

男子規定単独演武

- | | |
|---------|----------|
| (出場権獲得) | 新村真輔(1年) |
|---------|----------|

女子団体演武

- | | |
|----|--|
| 1位 | |
|----|--|

~こども園の様子~

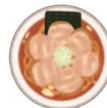
~縄編み~

3mの長い布を足の指ではさみ、三つ編みしていきます。世界に1つだけの自分の縄が出来上がりました。



~小さくてもできるんです!~

『ちゅるちゅる~!』
ラーメン作りをする子どもたち。
0、1、2歳児でも、
おいしいラーメンを
作れるんです!」



出来上がったら早速、縄跳びが始まりました。前飛びや後ろ飛びなど...
『先生、70回も飛べるようになったんだよ!』嬉しそうに報告してくれる子ども達です。

カルチャーフェスティバル 11/2日



学院食堂を会場に、第1回カルチャーフェスティバルを開催しました。アメリカ、イギリス、台湾、トルコ、フランス、フィリピン、南アフリカ、モンゴル、日本など、各国を紹介するブースを、子どもたちはオリジナルパスポートを持って訪問。様々な食や文化を体験しました。またステージでは、バイオリンやピアノ、ダンス、日本舞踊などの素晴らしいパフォーマンスを堂々と発表し、会場からは大きな拍手が送られました。

オープンスクール(公開研究会) 11/23日



インター小の授業を見てみたいとのご要望にお応えし、保護者や教育関係者を対象に、初のオープンスクールを実施しました。第1部の授業見学会ではEnglishとUOI(探究)の授業を実施し、多くの参観者が各学年の授業を熱心に見学されました。第2部では、県内の教育関係者を中心に、本校の教職員とワークショップ形式の意見交換会を実施。授業の良かった点や改善点について様々な意見が寄せられました。

インターナショナルスクール小学部

クリスマス特集



12月2日(月)にクリスマスイルミネーション点灯式が行われました。点灯礼拝では2024年4月に開校した九州ルーテル学院インターナショナルスクール小学部の児童による英語での特別賛美が行われました。園児・児童・生徒・学生・学院関係者が一つとなりイルミネーションを楽しみました。

中学・高校

キャロリング

生徒有志によるキャロリングが、今年2日間にかけて行われました。初日(12月18日(水))は、聖園教会、寮、こども園、インターナショナルスクール小学部を回り、クリスマスの訪れをともに喜びました。2日目(12月23日(月))は、ルーテル熊本教会(水道町)とカトリック手取本町教会を訪れ、賛美しました。クリスマスモードの高まる街中に、生徒たちの美しいハーモニーが響き渡りました。



慈愛園訪問

中学1年生宗教委員の代表6名が慈愛園ケアハウスとパウラスホームを訪問しクリスマスのご挨拶を行いました。その際、中学1年生が作成したクリスマスカードとPTAの「愛の一針運動(雑巾)」を贈呈しました。



12/20日 金

大学・保育園



12月20日(金)に大学チャペルにて、学内外から約200人が参加し、大学クリスマス礼拝が行われました。チャペル委員会を中心に、準備が進められてきました。礼拝では本学の聖歌隊、ハンドベルチーム、オルガニストに加え、有志も参加して素晴らしい讃美が行われ、温かな空気に包まれた時間を共有しました。また、「天には栄光、地には平和」と題して崔チャプレンの説教が行われ、参加者皆が心をひとつに全員でクリスマスの喜びを分かち合いました。なお、学生・教職員等から寄せられた献金は、「こどもL.E.C.センター」と「チャリティータンタ熊本」に寄付されました。

※保育園は2ページを参照



インター小

降誕劇

12/17日 火



大学チャペルにて、イエス様の誕生をお祝いするクリスマス行事を実施しました。礼拝の後、1,2年生がこれまで練習してきたインター小オリジナルの降誕劇を発表。それぞれが考えた英語の台詞を、大きな声で堂々と発表しました。3~6年生は、素敵な歌声で降誕劇を彩ってくれました。また、中高のハンドベルチームによる演奏に、子どもたちは熱心に耳を傾けていました。

こども園

クリスマス礼拝・祝会

救い主イエス様のお誕生をお祝いするクリスマス。こども園では12月21日(土)に、3,4,5歳児がクリスマス礼拝・祝会を行いました。



毎年、年長組の子ども達が、聖劇で「クリスマスの出来事」を伝えています。聖劇の練習に入る前、年長組ではマリアさんへの天使のお告げや、羊飼いが一番最初に馬小屋にやってきたこと、博士のこと等、クリスマスの話を聞いて役を決めていきます。どの役も欠かすことのできない大切な役です。一人ひとりが真剣に取り組むことができました。

祝会では、年長組によるハンドベルの演奏や、年少組と年中組の子ども達が劇や歌をうたってクリスマスをお祝いました。

